

# 12月補正の主な事業

定例会12月会議は、12月20日から24日までの5日間の会議日程で開催されました。

台風19号の被害による各種災害復旧事業費の増額等など、一般会計・特別会計並びに上水道事業会計の補正予算に関する議案や条例の一部改正、制定に関する議案等、20議案を原案どおり可決しました。

- **農業災害対策補助事業費** ..... 1億1,445万9千円  
ほ場に堆積した稲わらの撤去、農業機械等を助成する事業
- **補助農業用施設災害復旧費** ..... 6億1,058万円  
田、畑、頭首工、水路、農道等を国の補助を受けて復旧する事業
- **単独農業用施設災害復旧費** ..... 2億4,100万円  
田、畑、頭首工、水路、農道等を町の予算で復旧する事業
- **補助林道災害復旧費** ..... 4,300万円  
林道を国の補助を受けて復旧する事業
- **単独林道用施設災害復旧費** ..... 1,380万円  
林道を町の予算で復旧する事業
- **公共土木施設災害復旧費** ..... 2億2,900万円  
道路や河川等を国の補助を受けて復旧する事業
- **単独土木施設災害復旧費** ..... 6,060万円  
道路や河川等を町の予算で復旧する事業

## 棚倉町の台風19号被害状況

- 道路/町道 28路線 41箇所 ○河川/14河川 59箇所 ○農地/254箇所
- 農業用施設/頭首工17箇所 水路201箇所 農道86箇所 パイプハウス施設等6件
- 農作物被害/約38ヘクタール ○林道/18路線

## 質疑内容

**問 藤田智之議員** 台風19号の被害に対する復旧費用は、どの程度カバーできているのか、査定等で予定している金額等は。

**答 整備課長** 概算によりつかんでいる上限額で、足りているものと思っている。査定額等の見込みは現在、精査中。

**問 須藤俊一議員** 台風19号の災害復旧費の国県の補助、町、受益者負担の割合は。

**答 整備課長** 基本補助率として農地は国50%、農業施設65%の負担率となっている。

**問 佐藤喜一議員** 強い農業担い手づくり総合支援交付金は、何名の応募を計画、設定はされているのか。

**答 産業振興課長** 農業施設7件、農業者7人を見込んでいる。

**問 佐藤喜一議員** 今後、増えた場合、再度申請するか、増やすような形になるのか。

**答 産業振興課長** 増えた場合は県に要請して、補助金等を増やすようにしていきたいと思う。

**問 須藤俊一議員** 台風19号は激甚災害に指定されているが、国の負担率は。

**答 整備課長** 農業等災害復旧事業の補助率は、過去5年の実績では平均で農地が83%から96%に引き上げされている。

**問 近藤正光議員** 台風19号の災害復旧工事は町内業者で対応できるのか。

**答 整備課長** 町内9社を中心に発注していく。基本的に棚倉町内としかお答えできない状況。

**問 鈴木政夫議員** 有害鳥獣駆除の現在捕獲頭数は。

**答 産業振興課長** 11月末現在、119頭。

**問 佐川裕一議員** ふるさと納税は、例年と比べて増減は。人材育成基金積立金の利用目的は。

**答 総務課長** ふるさと納税額は、11月末で4,300万円。昨年の決算が4,200万円。積立金の利用目的は、教育の振興に活用。

**問 佐川裕一議員** ふるさと納税のポータルサイトの今後の予定は。

**答 総務課長** 2社増やし現在3社で運用。

**問 佐藤喜一議員** 多面的機能の返還金は何団体から返還されているか。台風19号の災害復旧は多面的機能を使つてどの程度できるか。

**答 産業振興課長** 返還は13団体。多面的機能を使つての災害復旧は県、国からの指示があり、現在の予算の範囲内で実施していく。

**問 古市泰久議員** ルネサンス費の工事請負費、施設維持管理費は当初予算と合わせて総額でいくらになるのか。次年度の維持管理費の推移は。

**答 産業振興課長** 維持管理費は総額で2,470万円計上。次年度は、特に工事費としては1,000万円から1,500万円ほどの予算計上予定。

**問 藤田光子議員** わくわくフェスタ事業の約100万円の減額は。

**答 地域創生課長** 低予算で有効な効果を出していく方針のもと、職員の仕事、全職員の対応等々により経費節減を図った。

**問 須藤俊一議員** 台風19号の職員、消防団の出勤の臨時的な支出、手当の金額は。国県等からの補填は。

**答 総務課長** 職員の人員費は12日、13日、合計で約180万円程度。超過勤務分は、一部県から交付金833,000円が措置されている。

**答 住民課長** 消防団の出勤は、12日が297名、13日が301名、14日が51名、見回り等を含めて、延べ666名。

**問 菊池忠二議員** 台風19号対応の職員の経費は。

**答 総務課長** 職員の超過勤務は、県からの交付金。それ以外は、町の経費。



議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

**反対討論**

(鈴木政夫議員)

議員の報酬は、明確な基準がない。安ければ安いほどいいなどと思っていない。明確な検討が必要である。今回引き上げは福島県人事委員会の勧告に従った理由があるが、私はこのような理由の引き上げには賛成できない。よって反対の立場を表明し討論とします。

**賛成討論**

(佐川裕一議員)

今回の改正は、福島県人事委員会の勧告を参考として、職員や近隣自治体の議会議員の均衡、バランスを図ることが目的で適正な改正であり、賛成討論とします。

棚倉町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

**反対討論**

(鈴木政夫議員)

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例と同じ理由により、反対の立場を表明し討論とします。

**賛成討論**

(佐川裕一議員)

今回の改正は、福島県人事委員会の勧告を参考として、近隣自治体との均衡、バランスを図ることが目的で適正な改正であり、賛成討論とします。

**採決結果**

反対者 (1名)

鈴木 政夫

賛成者 (11名)

蛭田 卓雄  
藤田 光子  
菊池 忠二  
和知 裕喜  
佐藤 喜一  
近藤 正光  
須藤 俊一  
古市 泰久  
佐川 裕一  
藤田 智之  
和知 良則

**12月補正予算の状況**

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	14億8,423万円	86億7,505万円
特別会計		
国民健康保険	1,166万円	13億2,840万円
介護保険	178万円	14億8,489万円
簡易水道事業	39万円	4,922万円
公共下水道事業	336万円	3億857万円
農業集落排水事業	14万円	7,615万円
上水道事業会計		
収益的収入	△899万円	3億8,869万円
収益的支出	△84万円	3億4,553万円
資本的収入	852万円	2億1,202万円
資本的支出	△60万円	3億4,263万円

**●厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書の提出**

■提出者 棚倉町議会議員 松本英一  
■提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣  
内閣官房長官・財務大臣・総務大臣  
厚生労働大臣

**陳情**

- ◎令和2年度教育予算確保並びに施設等の充実に關する陳情書  
■提出者 棚倉町立学校PTA連絡協議会
- ◎「看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める陳情」  
■提出者 福島県医療労働組合連合会  
執行委員長 高橋勝行
- ◎令和2年度棚倉町商工会助成事業（地域貢献事業）補助金の交付について  
■提出者 棚倉町商工会 会長 立石誠
- ◎令和2年度十萬石棚倉城まつり及び棚倉夏まつり事業補助金の交付について  
■提出者 棚倉町商工会 会長 立石誠

**条例の改正及び制定**

◆議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆棚倉町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

・福島県人事委員会の報告及び勧告に基づき給料表を0.09%、勤勉手当の支給率を0.05月引き上げ、期末手当の支給月数を0.05月引き上げる改正

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

・福島県人事委員会の報告及び勧告に基づき給料表を0.09%、勤勉手当の支給率を0.05月引き上げ、住居手当や通勤手当等の上限額を改正

◆棚倉町一般職の任期付職員等の採用等に関する条例の一部を改正する条例

・福島県人事委員会の報告及び勧告に基づき、給料表の一部及び期末手当の支給月数を0.05月引き上げる改正

◆成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

・法律の施行に伴い、本条例の規定を整理する改正

◆棚倉町中小企業・小規模企業振興基本条例

・中小企業等の振興に関し基本理念を定め、中小企業等に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に制定

◆棚倉町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例

・第4分団第1班と2班の合併により班長及び副班長が減少するため、階級別定員数を変更する改正

**追加議案**

◆土地の処分について

【所在地】 棚倉町大字仁公儀字ソナ地  
45番地8・45番地9  
【地目】 雑種地  
【面積】 45番地8 5,282㎡  
45番地9 5,457㎡  
【売却価格】 23,131,806円  
【契約の相手方】 東京都品川区大井1丁目16番2号  
公益財団法人日本ソフトテニス連盟  
会長 安道 光一

**当局的説明**

ルネサンス棚倉敷地内の屋外テニスコートの一部をソフトテニスの振興及び選手強化等拠点施設の整備に供するテニスコート用地(12面)として売却するもの。  
当連盟は、中学、高校生を中心に会員が約42万人いる団体で、天皇杯など各種大会を実施している。国際大会等に向けて選手強化を図るための拠点施設の計画があり、本町も名乗りをあげ、誘致活動を進めてき

た結果、本町に整備することが決定し、12月18日に基本協定書及び土地売買について仮契約を取り交わした。  
今後、選手の合宿等で、多くの宿泊客等が期待でき、活性化に寄与される。

**人事案件**

棚倉町固定資産評価審査委員会委員の選任

全会一致で同意されました。



梶 春江 さん (流)

よろしく  
お願い致します



# 町政を問う



12月会議では5人の議員が登壇し質疑を行いました。今回は、それぞれ分野で、多岐にわたり質問がされました。次のページからは、要点をまとめて掲載してあります。

**問** 台風19号による町内の被害は甚大なものがあり、特に農地や農業関連施設が大きな被害を受けている。頭首工17箇所、水路201箇所、農地73ha等となっており、既に査定は受けているとのことだが、早期復旧の見通しはどの様になっているのか。

**町長** 行政区等からの報告があった農地、水路、道路などの被災箇所現地確認を行い、被害が大きく、国庫補助金を申請する災害については、測量設計を行い、順次災害査定を受けているところである。

また比較的被害の小さい、小災害復旧事業により復旧するものについては、過日、行政区長説明会を行い、被災箇所復旧工事申請の取りまとめをお願いし、早期復旧に努めているところである。

今後の見通しについては、引き続き国の災害査定を受ける箇所もあるが、順次発注をしていきたい。



川底に堆積により水があふれた現場

**問** 来春の作付けに影響が出ないような、全部復旧出来るのか。整備課長 相当な被災箇所なので、町としては鋭意復旧に向け、来年の春に間に合うよう努力をしていきたい。

頭首工について復旧が間に合わなかった場合は、現在東北農政局に農政ポンプの貸し出しを要請しているところである。

## 問 台風19号被害の早期復旧の見通しは 答 早期の復旧に努めているところ

**問** タクシー利用券はその後検討されたのか

**答** 現在のところ見直す考えはない

**問** 町内におけるタクシー利用券の導入事業は、昨年7月から、65才以上で自動車の運転免許を持たない人を対象に実施され、私も評価している。

しかし今回の町議選でも、たくさんの方の意見が寄せられたが、問題は住んでいる場所に関係なく、一律年間48枚交付と、交付枚数が少ないとの意見である。これは以前から指摘しているもので、その後検討がなされているのか。

**町長** 利用券は年間48枚交付しているが、この枚数については、利用目的の制限・場所を特定してないため、一律に交付しているが、今のところ見直す考えはない。昨年度の利用割合は約49%、今年度については現在43%となっており、現時点で交付枚数が少ない

**問** 郷土民族文化財資料館について

**答** 文化財については、保管・保存や活用を適正に図っている

**問** 文化財を保管・保存し活用するための資料館の整備については、きっかけは小野町に行ったときだった。

そこでは、いろんな施設を見学したが、その地域での祖先の営みなどが、わかりやすく展示されており、感銘を受けてきたが、わが町としても整備していく必要があるのではないか。

**教育長** 個人所有の指定文化財等は、各保有者が適正に保管していただいている。



鈴木 政夫

### 1 鈴木政夫 議員 ..... 7ページ

1. 台風19号被害の早期復旧は
2. タクシー利用券その後検討は
3. 郷土民俗文化財資料館は

### 2 菊池忠二 議員 ..... 8ページ

1. 防犯に強い町づくりは
2. 幼稚園の運営は
3. 台風19号の被害とその後の対応は

### 3 古市泰久 議員 ..... 9ページ

1. 台風19号の被害状況と対応は
2. 保育施設周辺のキッズゾーン整備は
3. 幼保無償化の助成の上積み策は

### 4 佐川裕一 議員 ..... 10ページ

1. 台風19号への防災・避難対応は
2. クマの目撃情報への対応は
3. 棚倉駅前整備は
4. ロタウイルスワクチン予防接種は

### 5 藤田智之 議員 ..... 11ページ

1. 自転車を活用した町活性化は
2. 敬老事業の見直しは
3. インフルエンザなどへの対策は
4. 防犯カメラの設置の推進は



### 問 地域での防犯活動は 答 防犯協会が、各4支部で対応

**問** 町としての取り組みは。  
**町長** 棚倉警察署内にある東白川防犯協会連合会と連携調整を行い各支部に補助金交付を行っている。

**問** 昨年度の事件発生状況は。  
**町長** 町内の事件発生66件、子供連の事件13件、空き巣6件。

**問** 犯罪意欲を削ぐため、万が一犯罪後の捜査に役立つために地域や交差点など防犯カメラ設置の取り組みは。  
**町長** 現在、予定はない。

**問** 学校施設などへの防犯カメラ設置は。  
**子ども教育課長** 12月補正予算で中学校に設置、来年度以降、幼稚園、小学校に防犯カメラを順次設置予定。

**問** 幼稚園の運営、教育方針は。  
**答** 幼稚園教育要領に基づき実施

**問** 園児全体のレベルアップの為、ノルマになって詰め込み教育になってはいないか。  
**教育長** 新幼稚園教育要領では、幼児期の終わりまで育って欲しい姿として、10項目の目標が掲げられており年齢に応じた指導を積み重ね、その姿につなげている。

**問** 幼稚園卒園と小学校入学時の連携と問題は。  
**子ども教育課長** 小一プロブレムの研修等で対応している。

**問** 5歳児健康相談後の対応について、先生の理解と親と子供の充分な心のケアが必要だと思いませんか。  
**教育長** 親と子に寄り添って不安を除いて行きたい。



棚倉幼稚園の見通しの悪い出入口

**問** 棚倉幼稚園の出入り口や通りは見通しが悪く危険だがこの状況が続くのか。  
**教育長** 西側のアクセス道路設置は困難であるが7月に警察署、道路管理者と合同安全点検を実施しグリーンベルトなど歩行空間の確保などを要請した。

**問** 台風19号で久慈川、社川の氾濫対応は  
**答** 当日午前6時に災害対策本部設置で対応

**問** 災害対策の改善点は。  
**町長** 情報の管理と発信対応に検討の余地がある。

**問** 車のない方の避難は。  
**町長** 地域、友人、親戚などが協力して対応していただきたい。

**問** 消防団の活動に障害は。  
**住民課長** 社川の氾濫により、消防団活動が分断された。

**問** 被災した農地の町独自の事業は。  
**町長** 事業費13万円未満の該当しない事業にも対応。

**問** 漆草など被災した農地と隣接したお墓などの救済策は。  
**町長** 検討していく。



菊池 忠二

### 問 台風19号の被害箇所と件数は 答 県道、河川、農地他で数百か所

**問** 被害総額は。  
**町長** 約24億円程度を見込んでいる。

**問** 来春の被害農耕地の作付け等への対応は。  
**町長** 早期復旧に最大限努力し、営農再開となるよう努める。

**問** 農地、農業施設及び農業機械等の復旧事業補助率は。  
**町長** 国庫補助金として、農地が50%、農業用施設が65%、農業機械が50%、県補金が40%である。

しかし、激甚災害に指定されているので農地及び農業用施設はかさ上げされるものと見込んでいます。

**問** 避難勧告をした行政区名と避難人員は。  
**町長** 山田、岡田、高野地区全地区、逆川、天王内、北山本、中山本、下山本、祖父岡、寺山(豊岡)の各行政区であり、自主避難者を合わせて194名の方が避難した。

**問** 自主防災組織のある行政区では有効な組織活動が展開されたか。  
**町長** 自主防災組織が中心となつて活動することはなかった。

**問** 防災マップの見直しと、全行政区の自主防災組織の早急な組織化の考えは。  
**町長** 令和3年度に改定し、全戸配布の考えである。自主防災組織は、全行政区に設置するよう引き続き取り組んでいく。

**問** 農地の軽易な被害についての補助は。  
**整備課長** 小災害復旧事業として補助対象となる。

**問** 個人の避難行動のマイタイムラインの作成の普及は。  
**住民課長** 現行行っていないが、防災マップの改定の折に取り込んでいきたい。

**問** 保育園周辺のキッズゾーンの整備は

**答** 横断歩道の新設等関係機関へ要請

**問** 園児の送迎時及び園外保育時に交通事故が発生したか。  
**教育長** 送迎時、2件の事故があったが、けが人はなかった。  
**子ども教育課長** 園外保育中の事故等はなかった。

**問** 園児の生命を守るための重要な施策であり、早急な対応が必要であると思うが。  
**教育長** 早急に順次対応していく。



棚倉保育園の周辺

**問** ゼロ歳児から二歳児の課税世帯の無償化は

**答** 町独自の無償化は考えていない

**問** 課税世帯を無償化した場合の経費は。  
**子ども教育課長** 本年度の保育料の試算で行くと概算額で約2,800万円となる。

**問** 2,800万円は無理だとしても、利用料の半額とか3分の1等々の捉え方であれば検討の余地があるか。  
**子ども教育課長** 来年度の国からの助成財源等精査しながら子育て支援策の一つとして検討していく考えである。



古市 泰久

### 問 台風19号への防災・避難対応を問う

### 答 優先順位をつけて復旧



1日も早い復旧が望まれる被災地域

言われているので、災害対策の最も重要な目標である人的被害が発生しなかったことも含めて、適宜、対応できたものと考えている。

反省点は、災害対策本部に集まるさまざまな情報の整理分析、夜間における河川状況の確認、避難所担当職員の夜間の交代、社川の氾濫により地域が分断された場合の対応の4点。

**問** 堤防や頭首工などの復旧計画は。

**町長** 管理者である県南建設事務所を確認したところ、被災堤防の復旧は次期出水に備えて速やかに復旧工事に着手をする必要があるため、県庁担当課と調整を進めてまいりますとの回答がありました。頭首工復旧については、現在、災害査定に向けて業務を進めているところであり、被災の状況もさまざまであることから、優先順位をつけて復旧していく計画である。

**問** クマの目撃情報への対応を問う

**答** 捕獲駆除に努めている

**問** 捕獲や駆除は。

**町長** 福島県県南地方振興局から捕獲駆除の許可を取得し、近隣の浅川町、鮫川村の担当課と情報を共有しながら連携を図り、捕獲駆除に努めている。

**問** 棚倉駅前整備を問う

**答** 具体的計画は無い

**問** 整備についての考えは。

**町長** 現在のところ具体的な計画は持っていないが、今後にも必要な課題として捉え、関係機関と情報等の交換をしてみたい。



今後の計画が待たれる棚倉駅前JRバス跡地

**問** JRバス跡地は現在売りに出ているか。

**町長** JRバスに確認したところ、現在のところ、売地としての考えはない。



佐川 裕一

**問** ロタウイルスワクチン予防接種を問う

**答** 新たに定期予防接種の対象とすることを決定し、令和2年10月から開始



藤田 智之

**問** 自転車を活用した様々な取り組みが注目されているが、当町での取り組みは。

**町長** 昨年度に自転車活用全国市区町村長の会に加盟をし、今年度は東白川地方自転車活用推進協議会を設立して、活用推進計画の策定を進めている。

郡内の周遊コースの設定、サイクリングマップの作成、自転車活用のシンポジウムやワークショップを予定している。

久慈川サイクリングロードの活用や健康プログラム、健康増進イベントなどを企画して、健康づくりにつなげていきたい。郡内統一の自転車に関する看板、標識の設置、サイクルシェアリングの構築なども目指したい。

**問** 協議会の内容と予算は。

**整備課長** 県南地方振興局長や郡内町村など16名で構成し、4町村各50万円の負担金と県のサポート事業800万円、年間1千万円

### 問 自転車での地域活性化は

### 答 協議会を作り活用推進計画を策定

で3年間の事業計画を立てている。

**問** 敬老会の参加者は

**答** 約200人で全体の9%

**問** 敬老事業も見直しが必要な時期に来ている、敬老会を地域ごとで開催してはどうか。

**町長** 今年度の敬老会は、町文化センターに75歳以上の対象者2,279人を招待し表彰を行う式典とアトラクションの2部構成で開催。参加者は約200名で年々参加者が減少し事業内容の見直しが課題となっている。地域ごとの開催については参加率が約9%と低い水準なので町老人クラブ連合会等と協議し、検討したい。県内の敬老会開催状況等も参考にしたい。



復旧と活用が期待される自転車道

**問** 病児保育の導入は

**答** 必要性は十分認識

**問** インフルエンザ対策が重要だが現在の補助制度の概要と効果、取り組みは十分か。病児保育の導入は。

**町長** 1歳から13歳未満までの子供に対し2回、13歳から18歳までの子供に対し1回、65歳以上の高齢者に対し1回、それぞれ1回

**問** 就学援助費で接種の補助は。

**子ども教育課長** 可能か検討したい。

**問** 防犯カメラの設置は

**答** 役場庁舎、保健福祉センター、文化センター、体育館、中学校、図書館に補正で設置予定。来年度は小学校、幼稚園を計画。



## 厚生文教常任委員会 所管事務調査報告

### 調査内容 今後の遠距離通学児童の 支援について

小中学校における通学支援の状況について調査を行った。

各小学校では、家族の送迎が多く見られ、中学校では高野地区のみスクールバスが運行されていることから、地域ごとの実情に合った検討と全町的なスクールバスの導入が必要であるため、町教育委員会に要請した。

現在、令和3年4月からの導入が進められている。

支援対象範囲の考え方や自己負担について「9月議会だより」に掲載しましたが、詳細は未定の部分も多く、今後検討していくと担当課より説明があった。

通学支援について、不公平感がないように取り組むことを期待し報告いたします。

厚生文教常任委員会  
委員長 和知 裕喜

ネサンス棚倉との調整を重ねていった。ルネサンス棚倉への経営の一般財源の繰り入れ、1億円相当額を4年間、6,000万円相当のお金を1年間投入し、経営改善を図っていることはまだ始まったばかりである。平成30年12月の補正において1億円を投入したが、その変化について、今年度の6月議会でルネサンス棚倉からの報告があったところであり、今年2年目、まだ終了はしていない。特別委員会を設置したからとはいえず、結論を出すには時期尚早であるという観点から、このような結果報告の内容になった。ルネサンス棚倉の存続まで至るような発言があったかどうかと、否やという意見は具体的には出ていない。特別委員会の考えは、できることであることなら、これを存続、いかに存続をさせていくかということが大きな思いの中でのこの特別委員会が進み、ルネサンス棚倉調査特別委員会は、引き続き活動を展開すべきであろうというようなことを併記したのは、私が申し上げたことをさらに次期のルネサンス棚倉調査特別委員会のメンバーにより、さらなる調査研究を重ね、ルネサンス棚倉、町当局との調整を図って、よりよい方向を見出すため、第1回目の特別委員会としての報告であることを、特段のご理解を賜りたい。あと一点については、当該する委員のほうからの答弁となるかと思う。

## ルネサンス棚倉調査 特別委員会報告

平成三十年第四回議会定例会において、ルネサンス棚倉調査特別委員会が設置され、株式会社ルネサンス棚倉に対し、経営改善計画書の提出を求め経営状況や経営方針の説明を受け調査、研究を行った。まいました。

その間、会津美里町振興公社ほつとピア新鶴や埴町振興公社湯遊ランドはなわへの行政視察を行いました。両公社共に経営は厳しい状態にあり、併せて施設等の老朽化や利用者の減少等対策に苦慮されているとのことでありました。

両町共に相当額の指定管理委託料を支払っており、公社の経営には積極的に関与し、強いリーダーシップを取っております。さらに会津美里町においては、町温泉施設利用活用処分方針により施設の廃止縮小や民間への売却等も検討されていることは顕著な事例であり、埴町にあつては、公社への町の監査委員による監査を実施しているとのことであり、当町においても導入すべき事例が多数あることを実感した有意義な研修でありました。

株式会社ルネサンス棚倉については、経営健全化方針による経営

### 蛭田 卓雄議員

私は、ルネサンス棚倉調査特別委員会関係者であるので、これはということを考えて。参加していいものか、悪いものか。私は、ルネサンス棚倉の将来を踏まえ、過去の10年間経営に携わっていた観点から、言うべきものは言う、情勢が右に行けば中央へ戻すとか、そういった議論を尽くす必要があるのではないかと。ということで、参画側の特別委員会に入った。何が違うのかは、10年前と違いは震災以降、極端に集客が落ち、赤字になり、それを東京電力により補填をし、賠償をもらい黒字に転換をした時期もあった。東京電力の補償がなくなり、約6,000万円の赤字になるという見通しがついた中で、執行部のほうから、それを何とかしなくちゃならないというような話が出てきた。近隣町村の施設では、いろんな財源、補助等々より、存続に至っている。入湯税を含め、かなりの金額を投入している。

### 和知 良則議員

今回、伺った背景には、何か相違点があったのか。それを見出すために、10年前と今を見比べて、そういう調査をしたのかを聞いています。

### 蛭田 卓雄議員

当該のその辺は、調査した。特別委員会としては、今後、再建計画に

改善計画、株式会社ルネサンス棚倉5ヶ年経営健全化方針に基づき調査を重ねてまいりました。

再建計画は始まったばかりであり、今後、より困難な経営状況が予想されます。ルネサンス棚倉からは、営業がほぼ計画通り推移しているとの説明がありました。経営健全化を図るためには営業体制の強化を図ることは重要なことであり、同時に現状の経営体制の見直しや改善を図りいかに黒字経営に持っていくかが重要なことであります。

今後は、ルネサンス棚倉5ヶ年経営健全化方針に基づき、町民、ルネサンス棚倉、町当局、議会が一体となり、今こそ町あげての対応を図るべき時であることを提言いたします。

更に、今後も引き続きルネサンス棚倉調査特別委員会を設置し活動すべきであることを併記し報告いたします。

ルネサンス棚倉調査特別委員会  
委員長 古市泰久

## 《《 質疑内容 》》

### 和知 良則議員

報告書の中で、ルネサンス棚倉5ヶ年経営健全化方針に基づき、ルネサンス棚倉、町当局、議会が一体

基づいて、皆さんとともに一生懸命、進むべきであろうという結論に達した。

### 和知 良則議員

私が、聞いているのはその図るべき内容、これは何なのか。その対応は、どのような対応が必要なのかと、それを聞いた。そこまで踏み込んだ調査をしたのか。していなければいけない、やったならこういふことやりましたと、それでいい。委員は、もうルネサンス棚倉が限界にきているのではないか、広報紙を使いそういふこと言っている議員もいる。その中で、地域経済の普及、雇用確保のためにやむを得ないという相反する考えがあるから、それを一つにまとめるためには、どのような調査をし、まとめたのかの話である。例えば、今、10年前との調査を行って、現在と比較したものが報告書に載っていないのか、それが不思議である。その3点、もう一度お願いします。

### 古市委員長

内容等の詳細について、答弁を求めているようであるが、その詳細は、一々書いたら膨大なものになってしまう。当然、ルネサンス棚倉がこの場に至った経緯等々、それは当然調査の中で厳しく追及してきた。

今後の方向等々は、委員会の中で討議、検討してきたが、まだ始まったばかりで、この結論が出ていない

となり、町挙げての対応を図るべきとあるが、特別に調査しなくとも誰もが思う。図るべき対応というのは何なのか。どのような対応が必要なのか、その内容まで踏み込むのが調査だと思うが、これらについて混乱はなかったのか、伺う。

次に、ルネサンス棚倉が経営に行き詰まり、町が膨大な町費を投入しなければならぬ事態となっている。このまま続けていくのか、限界にきているのではないかとの見方を持っている議員もいるが、反面、地元経済への普及、今後のためにやむを得ないとの発言をしている議員もいる。この相反する考えの中で、どのような話が出なかったのか、どのようにまとめたのか、伺う。

次に、委員の中には、元ルネサンス棚倉に重要なポストで働いていた方がいる。今回、調査に加わった背景には、当時の運営の仕方と現在のあり方に大きな相違があるか、重要な何らかの要件があったため調査に加わったものと推測するが、10年前との比較などについて、調査などは行ったのか、3点伺う。

### 古市委員長

調査の内容は、ルネサンス棚倉に対し改善計画書の提出を求め、支配人並びに町当局、担当課長からの説明を受け、他の町村のセクターによる公社運営はどうなっているのかを相対するために行政視察を行い、ル

状況であり、今後さらに4年間、今年も含めて一般財源の繰入を行っているということ。議会は承認している。その推移を見ていくということも必要であり、第1回目のルネサンス棚倉調査特別委員会においてはそれ以上のものはなく、このような報告書のとおりとなった。

### 和知 良則議員

取りまとめる中で、経営の問題に対して、こうやれ、ああやれという不要な意見はない。第3セクターの経営内容まで踏み込む調査は、百条委員会もつてもできないと私は前から言っていた。そのため、このような報告書になったのかと思う。そういう認識でいいのか。

### 古市委員長

この特別委員会の中で、初期の段階でルネサンス棚倉の計画では、平成3年、5年後には黒字化することを計画書の中でも明記されている。一般質問の中でも、町長答弁、質疑の答弁でも、平成4年の5年後に黒字化になる。改善計画書の中にもそのような文言がきちんと載っている。この議会が承認した再建のための一般財源からの繰り入れが、この推移を見て、継続的に特別委員会を設置し、一体となった経営改善のための方向性を導き出すというような考えを持って、今回の報告とした。

# 言わせて一言

## 人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

### 住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

人口減少や高齢化社会の進行などで地方議員の人材不足が取り沙汰されています。昨年春の統一地方選とりわけ町村議会議員選挙では「無投票当選」や「立候補者が定数に満たない」との報道を記憶しています。

昨年12月の町議会議員選挙は、投票行為により議員が選出されたことで町民の様々な多くの意見が議会に反映されることになると思っています。

中山間地域の生活者は、地場産業で生業が成り立たない難しさや担い手・後継者不足に悩まされています。また、昨年の台風による甚大な被災に心折れそうになりながら復旧・復興に取り組んでいます。

多くの議論を重ね、住民に寄り添い身近な暮らしを守る大事な役割を担う議員の重責に感謝申し上げます。



堀にお住まいの  
渡邊 中さん

強烈にお住まいの  
鈴木 元さん



私の家族は現在6人です。昨年、長男夫婦が自宅の敷地内へ家を建て、孫も高野幼稚園へ入園、よつやく自宅へ帰ってきてくれました。しかしながら、高野幼稚園の入園者が二人しかいないことに驚き、非常にショックを受けました。

今後数年の間には、入園児が「0」になってしまうのではないかと危惧しております。町内他の地区でも同様の事が言えるのではないのでしょうか。5年後、10年後棚倉町の人口減少に少しでも歯止めをかけるためには、将来の子供達が「棚倉町に帰ってきたら」「帰ってきて良かった」「これからも住み続けたら」と思える他町村にない子育て支援対策魅力ある支援(や企業誘致(工業団地等の設置)と雇用確保の対策をお願いします)をお願いします。

## あなたも議会を傍聴しませんか

傍聴の手続きは、役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。



次回の定例会  
(予定)



3月 4日(水) 開会・本会議  
5日(木) 本会議・委員会  
6日(金) 休会  
7日(土) 休会  
8日(日) 休会

3月 9日(月) 一般質問  
10日(火) 一般質問  
11日(水) 予算特別委員会  
12日(木) 予算特別委員会  
13日(金) 本会議・閉会(午後)

委員 近藤 正光  
委員 割栢 義夫  
委員 佐藤 喜一  
委員 藤田 智之  
委員 鈴木 政夫

### 広報編集常任委員会



私たちが  
議会だよりを  
担当します。